【様式３】

「おいしい未来へ やまなし」ブランドプロモーション業務に係る企画提案書

提案者

○　様式３作成上の留意点等

【記載内容】

・　仕様書を熟読の上、次のページに記載した１から５の項目について作成してください。

・　審査会は、企画提案書がどの企画提案応募者のものかが審査員にわからないようにして運営いたします。このため、表紙（前のページ）以外には、企画提案応募者の名称を記載しないでください（添付資料も含む）。

【体裁・ファイル形式】

・　フォントや書式は自由に設定して結構です。横版での作成も可としますが、ページサイズはＡ４版としてください。Ａ３版の折り込み可。

【添付資料】

・　図表の掲載や参考資料の添付も可能です（体裁やファイル形式の指定は上記と同じ）。

【ページ枚数の制限】

・　参考資料も含めて３０枚以内として下さい。プレゼンテーションで使用しない資料は入れないで下さい。

【その他】

・　次のページに記載してある「留意点」の説明文及びこのページは、提出時には削除してください。

・　プレゼンテーション時に追加資料の提出はできません。また、既に提出した企画提案書の再提出及び差し替えもできません。

１　事業目的・事業内容の理解度

【審査の視点】

・　事業の目的を十分に理解し、明確かつ具体的に提案されているか。

・　「おいしい未来へ やまなし」について理解がなされているか

【留意点】

・　仕様書及び審査の視点を踏まえて記載すること。

・　本業務の目的は県産農畜水産物のブランド力及び認知度向上であることに留意すること

２　ウェブ雑誌等を通じた情報発信

【審査の視点】

・　提案内容は仕様を満たしており、効果的なものとなっているか。

・　記事構成は県産農畜水産物の魅力が十分伝わり、ブランド力及び認知度向上につながるものであるか。

・　記事を掲載する媒体は発信効果が見込めるものであるか。

・　ＫＰＩの設定は妥当なものであるか。

【留意点】

・　仕様書及び審査の視点を踏まえて提案内容を記載すること。

・　本業務の目的は県産農畜水産物のブランド力及び認知度向上であることに留意すること

・　本業務の目的達成に有効と思われる独自提案があれば記載すること。

３　実施計画・実施体制

【審査の視点】

・　実施手順が効率的であり、実施スケジュールが業務を安定的に遂行できるものであるか。

・　コンプライアンスや情報管理を的確に行い、本事業を確実かつ効果的に実施する体制を備えているか。（他社との連携体制を含む。）

【留意点】

・　仕様書及び審査基準を踏まえて提案内容を記載すること。

・　業務全体の年間のスケジュールが分かるように記載すること。

・　業務の一部委託や他社との連携を予定する場合は、委託先、連携先企業との役割分担なども含め、実施体制の全容がわかるよう具体的に記載してください。

４　類似事業の経験や専門知識等

【審査の視点】

・　本事業に関連する専門知識やノウハウ等の蓄積があるか。

・　本事業に類似する業務の実施経験があるか。

【留意点】

・　仕様書及び審査の視点を踏まえて記載してください。

・　過去の実績については、差し支えのない範囲でできるだけ具体的に記載してください（特に国や地方公共団

体、独立行政法人、地方独立行政法人との業務実績については記載をお願いいたします）。

５　その他

【審査の視点】

・　提案内容に独自性・創意工夫があり、「おいしい未来へやまなし」のブランド力及び認知度向上に有効であるか。

・　具体的で、実現可能な提案内容となっているか。

【留意点】

・　業務全体を通した目線で記載して下さい。